

【人材の養成に関する目的】

<p>■経済学部 経済学の知見に基づき、現代の複雑な社会問題を正しく理解するための分析力と、それらを意欲的に解決するための実践力とを備え、持続可能な経済社会の構築に資する人材を養成する。</p>	<p>■現代経済学科 多元的な視座から学んだ経済学の知識を、現代社会の抱える問題の発見につなげていく実践力・応用力を備えた人材を養成する。さらに、データの収集分析能力を高めることで、直面する問題を客観的かつ批判的に直視することができ、他者と協働しながら身近な地域社会の課題克服に立ち向かう人材を養成する。</p>
---	--

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

経済学部現代経済学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（経済学）の学位を授与します。

<p>【専門分野の知識・技能】 （DP1-1）現代経済学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 （DP1-2）経済学の基礎的な概念及び理論を理解している。 （DP1-3）経済学の基礎的な手法を修得し、サステナビリティの観点から、経済・社会現象を、実践型研究を通して把握することができ （DP1-4）グローバル経済及び地域コミュニティの視点から、社会問題の在処を発見・考察し、自ら仮説を立て、それを検証することが</p>	<p>【表現力、発信力】 （DP4-1）自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 （DP4-2）現代社会問題の背景等に関して、一般の人にわかりやすく説明できる。 （DP4-3）経済・社会現象や経済・社会問題に関する理論的、実践的な分析を、わかりやすく文章や図表、調査資料にまとめることができ</p>
<p>【教養の修得】（広い視野での思考・判断） （DP2-1）人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 （DP2-2）経済理論、経済制度だけでなく、人間、社会、歴史等も踏まえた総合的な考察を行うことによって、経済政策の在り方について幅広い議論を展開することができる。</p>	<p>【多様な人々との協働】（コミュニケーション+協調性+チームワーク） （DP5-1）多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>
<p>【課題の発見と解決】（情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考） （DP3-1）課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 （DP3-2）新聞、書籍・雑誌、テレビ、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要ときに必要な情報を入力することができる。 （DP3-3）経済・社会問題の理解に必要なデータを調査収集し、それを定量的に分析し、結果に関して経済理論に立脚して的確な解釈を行うことができるようになっている。</p>	<p>【自発性、積極性】 （DP6-1）学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>

科目の例: 必修科目 (必ず単位修得をしなければならない科目)

登録必須科目 (1回は履修登録を行い受講する必要があるが、単位未修得だった場合の再履修は任意)

選択科目

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数			
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム		
ゼミナール科目	必修	1-1 3-1 4-1 5-1	基礎ゼミナール②				上級ゼミナールⅠ② 上級ゼミナールⅡ②		卒業研究④			
	選択	1-1 3-1 3-3 4-1 4-3 5-1										
	フィールドワークプログラム科目										プレゼンテーション演習② 経済学特殊演習② 現代経済特殊演習②	政策課題演習② 経済学ワークショップ④
	情報分析プログラム科目										フィールドワークⅠ② フィールドワークⅡ②	情報分析演習Ⅰ② 情報分析演習Ⅱ②
地域・グローバル研究科目	地域コミュニティ経済科目	1-1 1-4 3-1 4-1 5-1 6-1	フィールドワークの技法②		社会調査の技法② 地域研究法② コミュニティ研究ゼミナール②							
	グローバル経済科目	1-1 1-4 3-1 4-1									エリア・スタディーズA② エリア・スタディーズB② 文化と経済② 国際理解ゼミナール② Special Lectures on International Communications② Special Lecture on Global Economy② 外国語短期研修② グローバル特殊講義②	

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
基盤科目	基盤Ⅰ	1-1 1-2
	基盤Ⅱ	1-1 1-2 3-1 3-3

総合科目	制度・歴史	2-1 2-2
	社会理解	2-1 2-2

応用発展科目	企業マネジメントコース	1-1 1-2
	ファイナンスコース	1-1 1-2
	サステナビリティコース	1-1
	公共政策デザインコース	1-1
	Global Study Program科目	2-1 2-2

広域基礎科目	2-1 2-2
--------	------------

自己設計科目	2,5,6
--------	-------

1年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム

初級ミクロ経済学Ⅰ② 初級マクロ経済学Ⅰ② 初級統計学Ⅰ② 初級経済数学②	初級ミクロ経済学Ⅱ② 初級マクロ経済学Ⅱ② 初級統計学Ⅱ②
--	-------------------------------------

2年次 配当科目・単位数	
第3ターム	第4ターム

中級ミクロ経済学② 中級マクロ経済学② 中級経済数学② 中級計量経済学② ゲーム理論② 応用計量経済学② 国際マクロ経済学② 行動経済学② 情報の経済学② 経済発展論② 社会経済地理学② 人口学② 社会学② 企業財務② 基盤特殊講義②

経済史の基礎②
現代日本経済② 数量経済史② 経済学史②社会思想史② 日本経済史A② 日本経済史B② 西洋経済史A② 西洋経済史B② 比較経済史② 地域経済史② 社会史② 総合特殊講義②

労働法② 経済実務講義② 社会理解実践講義②

産業組織論A② 産業組織論B② 組織の経済学② 国際経済学② 労働経済学② ベーシック民法② 企業を取り巻く法律② 企業マネジメント特殊講義②

ファイナンスA② ファイナンスB② 金融論A② 金融論B② 国際金融論② コーポレート・ファイナンス② 金融に関する法律② ファイナンス特殊講義②

環境経済学A② 環境経済学B② 都市経済学② 開発経済学② 経済地理学A② 経済地理学B② 地球環境問題② 環境と法② サステナビリティ特殊講義②

財政学A② 財政学B② 公共経済学② 教育経済学② 社会保障論A② 社会保障論B② 医療経済学② 法と経済学② 公共政策デザイン特殊講義②

Topics in Business② Japanese Economy② Topics in Political Studies② Regional Studies②Law in Society② Japanese Contemporary Issues② Topics in Japanese Culture② Topics in History② Science and Technology② Japanese Popular Culture② Japanese Art② Japanese Linguistics② Language and Literature② Phonetics and Phonology② Geography② Climate and Nature② Global Career Design② Special Seminar②
--

日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ② 世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学②地誌学② 現代の政治学②

全学共通科目、経済数理学科開設科目のうち上記各科目区分から選択した科目、他学科学科目、他学部科目、単位互換科目
